いよいよ師走の月にはいりました。とした冬の自然が展開します。ほかの冬季の生活は、なにかと気をくばらねばなりません

十二月はしめくくりの月です　皆さんのご家庭でもいろいろ手順をととのえて、すっきりした気分で新しい年を迎えられることでしょうが、市でも、行く年の市内におきたできごとや、市政ニュースなどで、日光の歴史の中に長くきざみこまれるものを拾ってみました。新年を迎えるにあたって皆さんとともに一年をふりかえってみたいと思います。

ことしは、二つの有料道路の開通や霧降高原の開発、さらには将来の観光の大動脈として期待される霧降大橋の完成など、日光市躍進のための数々の事業が順調にすすめられ、健全な市政のための基礎施策がさらに固められたという感じがします。

ことし一年間のできごとを皆さんとともにふりかえりながら来年にも大きな期待をかけて新しい年を迎えましょう。

新しい時代を刻む躍進の姿が見えた

夢の国際観光路
金精・日光道路が完成

完成の日光道路

奥日光湯元と群馬県菅沼を結ぶ金精道路と、いろは坂のバイパス線として作られた日光道路が完成、十月六日瀬戸山建設大臣上村道路公団総裁、横川県知事、佐々木市長ら関係者が多数出席して盛大に開通式が行なわれました。ともに道路公団によって作られたもので約二十二億円を投じて完成したものです。この二有料道路の開通は、日光の観光開発ばかりでなく産業の発展にも大きな役割を果たしてくれるものです。

佐々木市長四たび当選

日光市長選挙は八月二十五日行なわれ、佐々木市長が四たび当選しました。翌二十六日には選挙会が開かれて小西選挙管理委員長から当選証書が佐々木市長に手渡され、これで今後四年間、引き続いて市の行政にあたることになりました。

8月28日の初登庁で所信を述べる市長